

くに びょうかんじゃ きょうせいでき りょうようじょ  
 わが国では、ハンセン病患者を強制的に療養所  
 しゅうよう れきし かくり せいさく  
 に収容してきた歴史があります。この隔離政策は、  
 ちりょうやく かいはつ びょう なお びょうき  
 治療薬が開発され、ハンセン病が治る病気となつて  
 つづ  
 も続けられました。

びょう かんせんりよく よわ にちじょうせいかつ  
 そのため、ハンセン病は感染力が弱く、日常生活  
 かんせん おそ びょうき  
 で感染することはほとんどないのに、恐ろしい病気  
 あやま にんしき ていちゃく いま もとかんじゃ か  
 であるとの誤った認識が定着し、今も、元患者や家  
 ぞく へんけん さ べつ くる  
 族は偏見や差別に苦しんでいます。



《静物》矢野悟 制作年不明 油彩・キャンバス・53.0×65.2cm



《亀美の豚》大山清長 1996年 油彩・キャンバス・45.5×53.0cm

くまもとけん きくち けいふうえん ねん  
 熊本県にある菊池恵楓園は、1909年にハンセン  
 びょうりょうようじょ かいせつ きんようかい  
 病療養所として開設されました。そこには「金陽会」  
 よ かい が  
 と呼ばれる絵画クラブがあります。  
 きんようかい えが かい が りょうようじょ にち  
 金陽会のメンバーが描く絵画は、療養所での日  
 じょう き と さくひん はな ばな か ぞく とお  
 常を切り取った作品や、離れ離れになった家族や遠  
 おも えが さくひん ゆた かんせい  
 いふるさとを思って描いた作品など、豊かな感性に  
 ひか かがや さくひんすう  
 あふれた光り輝くものばかりで、その作品数は900  
 てん こ  
 点を超えています。

がつ にち じ きんようかい てんらんかい ぜんこくかくち  
 9月5日14時から、金陽会の展覧会を全国各地  
 かいさい ぞうざ えみ  
 で開催しているキュレーター蔵座江美さんによる  
 こうえん かい  
 講演会をおこないます。

また、「金陽会」の絵画を展示する作品展も開催  
 きんようかい かいが てんじ さくひんてん かいさい  
 します。それらの作品に触れることで、描かれた背  
 さくひん ふ えが はい  
 景や込められた思いを想像してください。

そして、ハンセン病問題について「知る」きっかけ  
 びょうもんだい し  
 としていただければ幸いです。



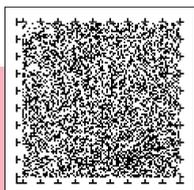
《うたせ船》中原繁敏 制作年不明 油彩・キャンバス・90.9×116.7cm

ウェブフォーム



こうえんかいさん か  
**【講演会参加にあたって（おしらせ）】**

- 手話通訳、要約筆記を会場に準備しています。一時保育（予約制、8/29㍻）もあります。
- 受講または録画配信（YouTube）視聴をご希望の方は、あらかじめウェブフォーム  
 でんわ もうしこ  
 （または電話、メール、ファックス）にてお申込みください。
- 録画配信視聴をご希望の方には、終演後、準備が整い次第URLをご案内いたします。
- 個人情報は、この催しについての連絡のみに使用いたします。
- やむを得ず催しを中止する場合があります。（ホームページでお知らせいたします。）



しゅさい くる め し くる め しじんけんけいはつすいしんきょうぎかい といあわ さき くる め しじんけんけいはつ  
 [主催] 久留米市・久留米市人権啓発推進協議会 [問合せ先] 久留米市人権啓発センター  
 でんわ  
 電話：0942-30-7500 FAX：0942-30-7501 メール：jinken@city.kurume.lg.jp